

国公立大学の前期試験の結果の速報です

3月10日までに、国公立大学の前期試験の発表がされました。まだ学校で把握できていないところもあるので、あくまでも速報になります。また、浪人生の情報も入ってきていますが、ここでは現役生についての話題をメインとします。まず、本校の国公立大学の前期試験（推薦含む）の合格者はおおよそ**120名+ α** 程度になりそうです。昨年度はここまでで137名でしたので、1クラス減ったことを考えると、だいたい例年並みと言えそうです。

以下、主だった大学について、前期合格者+推薦合格者の人数と、カッコ内に昨年度の人数を紹介します。もちろん、受験者数も、受験生の共通テストの点数も、模試の成績も違うので、一概に比較は出来ませんが、今年の傾向はわかると思います。

東京大学合格者は**3名**（3名）、京都大学は**1名**（4名）でした。東海北陸地区でいうと、**名古屋大学が14名**（16名）、**静岡大学23名**（21名）、**浜松医科大学8名**（8名）、**金沢大学6名**（1名）が目立つところです。旧帝大・難関大等だと、**東北大学3名**（1名）、**大阪大学2名**（4名）、**筑波大学7名**（3名）、**千葉大学2名**（5名）といったところです。また、**医学部**については、**浜松医科大学3名**、**名古屋大学1名**、**秋田大学1名**合格しています。

中期・後期日程（および浪人生）も含んだ詳しい情報については、来年度の「進路室の窓から」、「進路のしおり」等で紹介します。ここでは簡単に本校の前期試験の概観をまとめてみます。まず、東大京大等の結果については、東大の出願が例年より多め、京大・大阪大は少なめだったので、合格者数もこのような結果となりました。なお、文系の東大合格者が複数出ました。これは最近では珍しい現象です。また、目立つところでは、上記の**筑波大学・金沢大学**、そして**東京学芸大学5名（1名）、東京都立大学5名（2名）**の人気・合格が多かったです。ちなみに金沢大学は、能登半島地震の影響から全国的な人気下がっているのではないかと考えられていたのですが、結果的にはそれほど昨年度と倍率は変わりませんでした。金沢大学の文系の試験は、共通テストの得意科目が活かされるので、今回はそれがうまくいったようです。他方、**東京外国語大学**や、**千葉大学**、**静岡県立大学**は去年に比べると、出願者が少なかったです。このあたりは、年度によって大きく志望が増えたり減ったりするところですし、文系学部が多い大学ですので、本校の文系が昨年度より1クラス少なかったことも影響しているように思います。

難関大学から中堅大学までの全体の結果をみると、やはり**共通テストの点数の影響は大きい**といえます。とはいえ、チャレンジをして成功している受験生もいます。チャレンジするべきか、安全策をとるべきか、結果を見てもなかなか難しいものです。

なお、今は**中期日程・後期日程**の試験の真っ只中です。最後まで頑張ってください。

埼玉大学の前期試験で2年前と同じ問題が出題されました

今年の埼玉大学の前期試験で、2年前とほぼ同じ（travelling が traveling になっているぐらいの違い）英作文の問題が出題されたことが話題になりました。赤本で対策していれば、見たことのある問題として対応できたかもしれません。かといって、赤本の解答を丸暗記していたらOKというわけでもありません。というのも、赤本の解答は大学が発表しているものだと勘違いしている人が多いようですが、ほとんどの赤本の解答は、大学が発表しているものではなく、あくまでも出版社（教学社）が作成しているものです。ですので、今回のような、意見英作文とか、論述問題、小論文などの解答例が、大学の採点で満点になるかという、そうとは言い切れません。それもあって、今回の埼玉大学の件は、話題にはなりましたが、問題にはなっていません。というわけで、赤本の、特に文章（論述・小論文・英作文など）を書く問題の解答については、先生を頼りましょう。

なお、これに関連した話題です。多くの大学は「入試過去問題活用宣言」というものに参加しています。このまま検索してみてください。これは、各大学が、これまで出題されたあちこちの大学の入試問題を再利用して出題することがありますよ、という宣言と、入試問題はこの大学の問題を再利用しましたよ、という報告です。ここを見ると、埼玉大学を含め、かなりの大学が問題の再利用をしていることがわかります。流石にここに掲載されている問題が3回目に使われるとは思いませんが、少なくとも再利用した大学が、良問だと認めて利用していることは間違いありません。そういう点で参考にはなると思います。

国公立大学には2次募集というものがあります

国公立大学は、定員をかなり厳格に守るのですが、ごくまれに定員数に満たない合格者を出したり、入学手続きがされず、欠員が出たりすることがあります。その際、2次募集をかける場合があります。多くの場合、3月28日前後に出願させて、共通テストの点数+ α で合否を決めます。共通テストがそこそことれて、どうしても浪人したくない、私立大学を避けたい場合、こういう可能性を探る方法もある、ということは知っておいてもいいと思います。